はじめに

このたびは、**フォラケア・グラフィック**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本測定器を正しく使用していただくための操作方法と注意点が書かれています。お使いになる前に、この取扱説明書の内容を最後までお読みください。
フォラケア・グラフィックは、コンパクトなサイズで、操作も簡単です。血糖値をご自分で簡単に測定することができます。

測定結果に疑問を感じた場合には医師、看護師などの医療従事者へお問い合わせください。

フォラケア・グラフィックに関するお問い合わせは、フォラケア・コールセンター0120-462-453（フリーダイヤル）までご連絡ください。

医療機関の連絡先

この取扱説明書は大切に保管してください。

バージョン 1.0 2011/05　311-4234100-007

警告

1. 家庭で測定した結果は必ず医師に伝えた上で、医師の治療方針に従うようにしてください。
2. 本品および専用センサーでの測定結果等に疑問を感じた場合は、再度測定を行ってください。更に疑問に感じる場合は医療従事者に相談してください。
3. 以下の患者には使用しないでください。
   ・キシロース吸収試験を実施中の患者
   ・プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者
   （実際の血糖値より高値を示すことがあるのでインスリン等の血糖降下剤を大量に投与することにより、重篤な低血糖症状があらわれるおそれがあります。）
4. 一度使用した血糖センサー（以下、センサー）は廃棄してください。
5. 血糖値の結果によりインスリンの用量を調節する患者は、新しいセンサーのボトルを開けた場合、必ずQCモードでコントロール液による確認を行ってください。

使用上の注意

測定値に影響を及ぼす因子は以下の通りです。
（1）キシロース吸収試験時（血中濃度8mg/dL以上の場合）には実際の血糖値より高い値を示します。
（2）アスコルビン酸や尿酸等の還元性物質を大量に含んだ検体を測定した場合、実際の血糖値より高い値を示します。
（3）ヘパリンを除く抗凝固剤・解糖阻止剤入りの採血管に採血された検体を測定した場合、測定値が異常値を示す場合があります。
（4）プラリドキシムヨウ化メチルにより、実際の血糖値より高値を示す事があります。
（5）ヘマトクリット値20～60%までは測定可能です。20%未満および60%を超える場合は正確な測定値を得られないおそれがあります。

もくじ

はじめに	**01**
フォラケア・グラフィックについて	**06**
使用目的	06
測定の仕組み	06
フォラケア・グラフィック機器セットの内容品	07
別売品について	08
各部の名称	**09**
測定器（フォラケア・グラフィック）	09
センサー(フォラケア メディカルセンサー)	10
穿刺器具（フォラケア ランシングデバイス）	11
血糖値の測定	**12**
採血の準備	12
採血と測定	13
機能の紹介	**17**
モード選択	17
設定モードの表示	18
測定記録の呼び出し	22
コントロール液による機能確認（QCモード）	**28**
コントロール液テスト	28

お手入れ及び保管 30
電池の充電 30
測定器のお手入れ及び保管 32
別売品の使用上の注意 33
センサーの使用上の注意 33
コントロール液の使用上の注意 35
トラブルシューティング 36
測定範囲を超えた場合 36
エラーメッセージ 37
原因と対処方法 38
仕様 40

フォラケア・グラフィックについて

使用目的

フォラケア・グラフィックは、糖尿病治療での薬効、生活習慣等を継続して観察するための補助として、糖尿病患者がご自宅で、あるいは医療従事者が診療所等で使用する自己検査用グルコース測定器です。指先等の毛細血管から微量（0.7μL以上）の血液を採血してセンサーに吸引させて、グルコース（糖）を測定することを目的としています。

測定の仕組み

フォラケア・グラフィックは、全血中に含まれるグルコース（糖）の量を測定します。血糖値の測定は、センサーの試薬にグルコースが反応することにより発生する電流の測定に基づきます。測定器は電流を測定し、血糖値を計算して結果を表示します。反応により発生する電流の強度は、血液内のグルコースの量に比例します。

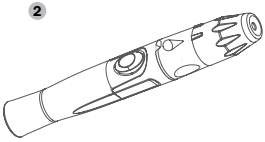
フォラケア・グラフィック機器セットの内容品

お買い上げ頂いた**フォラケア・グラフィック機器セット**には次のものが含まれています。

1

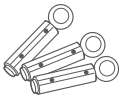
測定器
フォラケア・グラフィック
(充電池内蔵)

2



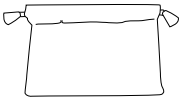
穿刺器具
フォラケア ランシング
デバイス

3



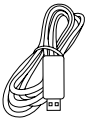
穿刺針
フィンガー
ランセット

4



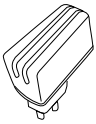
専用収納バック

5



ミニUSB ケーブル

6



充電アダプター

7

添付文書

8

取扱説明書

9

簡易操作
マニュアル

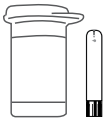
10

保証書

以上はフォラケア・グラフィック機器セットの内容品になります。機器セット以外の商品をご購入になった場合、実際の内容品については化粧箱の外部表示をご参照ください。

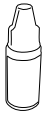
別売品について

❶



フォラケア メディカルセンサー

❷



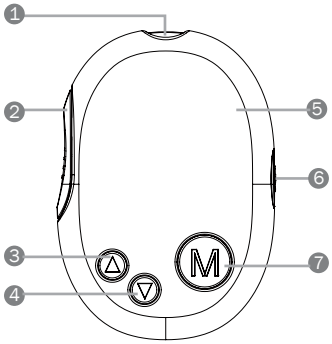
フォラケア メディカルセンサー用
コントロール液

注意

- お手元のフォラケア・グラフィック機器セットに不足の品がある場合は、ご使用なさらずに、フォラケア・コールセンターまでご連絡ください。
- フォラケア・グラフィック は、フォラケア メディカルセンサー（承認番号：22300AMX00489000）のみ使用してください。
- 本製品や検査用器具は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。センサー、ランセットなどの小さな部品は、飲み込むと窒息の恐れがあります。万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

各部の名称

測定器（フォラケア・グラフィック）



1 センサー挿入口
センサーを挿し込むと自動的に測定器の電源が入ります。

2 センサー除去レバー
このレバーをスライドして、センサーを排出します。

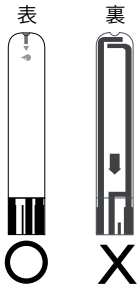
3 △ ボタンと 4 ▽ ボタン
表示画面に表示される情報を選択します。

5 表示画面
測定結果や測定器の情報、メッセージなどを表示します。

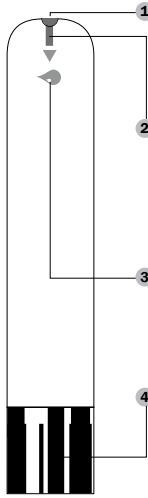
6 ミニUSBポート
付属のミニUSBケーブルを接続して充電を行います。

7 メイン Ⓜ ボタン
電源を入れる際や、項目の確定などに使用します。

センサー（フォラケア メディカルセンサー）



センサーを挿入する場合は、センサーのおもて面を手前にしてください。

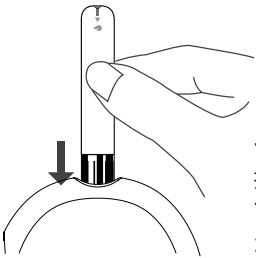


1 血液点着部
血液を0.7μL以上ここに点着します。

2 確認窓
センサーに血液が十分に吸引されたことを確認します。

3 血液マーク（赤色）
このマークがおもて面になります。

4 挿入部
センサーのこの部分を測定器のセンサー挿入口の奥まで、しっかり差し込みます。



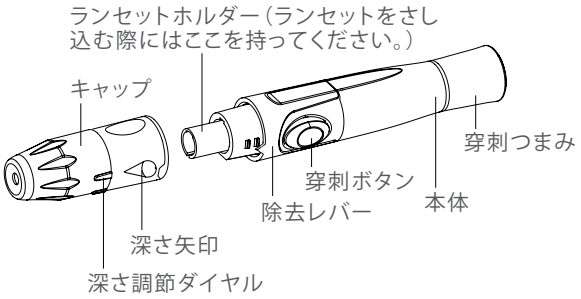
センサー挿入時の注意：
挿入部がセンサー挿入口に完全に挿入されていないと、正しい測定ができない可能性があります。

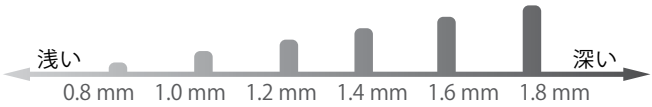
注意

- フォラケア・グラフィック には、フォラケア メディカルセンサーのみ使用してください。この測定器に他のセンサーを使用する場合、不正確な結果をもたらすことがあります。
- 一度使用したセンサーは、必ず廃棄してください。

穿刺器具（フォラケア ランシングデバイス）

穿刺器具に使い捨てのフィンガーランセット（以下、ランセット）を挿入して使用します。詳しくはフォラケア ランシングデバイス（以下、穿刺器具）及びランセットの添付文書をお読みください。穿刺器具は繰り返し使用できます。キャップには深さ調節ダイヤルが付いており、穿刺の深さを６段階から選択できます。





ランセットは出荷前に滅菌処理されていますので、安心してご使用いただけます。

禁止事項

- 穿刺器具は、感染を防ぐため、他人との共用はしないでください。
- ランセットは再使用できません。ご使用の都度、廃棄してください。

血糖値の測定

採血の準備

指先などから採血する際は、次の手順により行ってください。

- 両手と穿刺部位を洗い、十分に乾かしてください。
- 指先または身体部位のいずれかで、穿刺します。
- 穿刺する前に、穿刺する部位をマッサージすると、血行がよくなり血液が出やすくなります。
- アルコール綿などで穿刺部位を消毒した場合、十分に乾かしてください。

正しく採血するために、穿刺器具の添付文書をご参照ください。

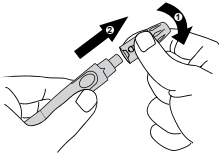
禁止事項

感染を防ぐために、

- ランセットや穿刺器具は絶対に共有しないでください。
- 必ず新しい滅菌されたランセットを使用してください。ランセットの使用は1回のみにしてください。

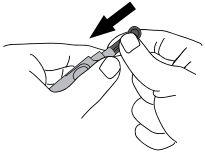
指先からの採血

① キャップの取り外し



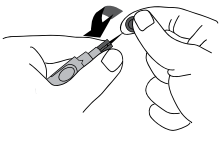
本体を固定して、キャップを回転させてから、穿刺器具のキャップを取り外します。

② ランセットの準備①



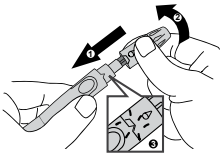
ランセットホルダーをしっかりと押さえながら、ランセットを奥までさし込んでください。

③ ランセットの準備②



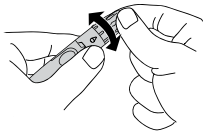
ホルダーにさし込んだ状態で、ランセットを押さえながら先端のランセットキャップを３回ほどねじり、引くと針が露出します。

④ キャップの取り付け



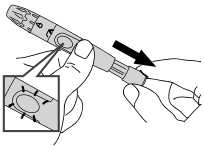
キャップのへこみと本体にある突起を合わせて、キャップを取り付けます。キャップを完全に差し込んだら、矢印②の方向に「カチッ」というまで回してください。

⑤ 穿刺の深さの調節

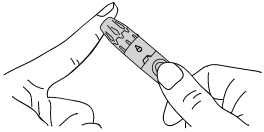


深さ調節ダイヤルで穿刺する深さを選びます。
（P11をご参照ください。）

⑥ バネの装てん



「カチッ」と音がするまで穿刺つまみを引きます。バネが装てんされると、穿刺ボタンからオレンジ色の点が見えます。装てんする際はキャップではなく、本体を持って装てんしてください。



⑦ 穿刺

キャップの先端を穿刺する場所にしっかりと当ててください。穿刺ボタンを押すと、穿刺されます。

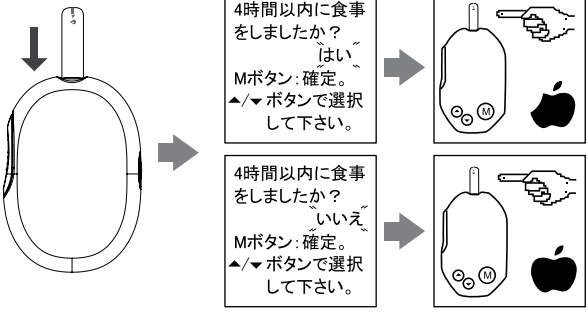
参考

同じ場所で繰り返し穿刺すると、痛みや皮膚の不具合を生じる可能性があります。採血するごとに、異なる場所を選んでください。

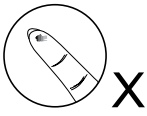
血糖値の測定

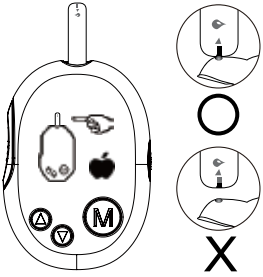
① 血糖センサーの挿入と食前・食後の設定

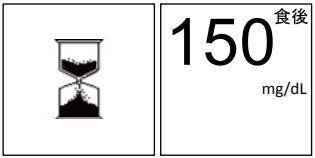
センサーを挿入すると、「４時間以内に食事をしましたか?」という質問が表示されます。Ⓐ Ⓥ ボタンで「はい」、「いいえ」を選択し Ⓜ ボタンで確定して下さい。

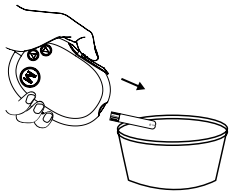


球状になっている


広がっている







② 血液の準備

あらかじめセットした穿刺器具を使って、希望する部位で採血します。血液が足りない場合は、穿刺部位の周りを圧迫してください。血液の玉がつぶれないように注意してください。

血液の量は、約 0.7 μLが 必要です。(◉ 血液量の目安です)

③ 血液の点着

センサー先端の点着部に血液をつけてください。確認窓全体が血液で満たされたことを確認してください。

④ 測定結果の表示

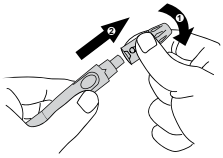
砂時計アイコンの表示の後(約7秒後)に測定結果が表示されます。

⑤ センサーの廃棄

使用後は、センサーを廃棄容器に向け、除去レバーをスライドさせ廃棄してください。測定器はセンサーを排出すると、電源が自動的にオフになります。

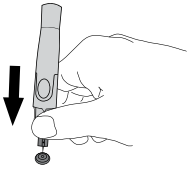
ランセットの廃棄

①



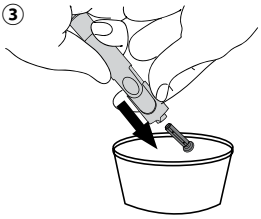
本体を固定して、キャップを回転させてから、穿刺器具のキャップを取り外します。

②



ランセットキャップを安定した台の上に置き、ランセットをしっかり持ちながら針部分をランセットキャップにさし込んでください。

③



廃棄容器に向けて、除去レバーを押しだすとランセットが廃棄されます。

注意

- センサーを穿刺部位に押し付けないようにしてください。
- センサーを挿入後、3分以内に測定を行わなかった場合は、自動で電源が切れる仕組みになっております。その際はセンサーを入れ直し、初めから測定を行ってください。
- センサーの確認窓が血液で十分に満たされなかった場合、正しく測定できません。万が一、十分な血液が吸引されなかったセンサーは、再度使用することができません。新しいセンサーでもう一度初めから測定を行ってください。
- 使用済みのランセットとセンサーは病原微生物などにより感染の危険があります。地方公共団体の条例に従って廃棄してください。

機能の紹介

モード選択

画面にはいくつかのアイコンが表示されます。Ⓜ を押して測定器の電源をオンにすると、ロゴと日付および時刻が表示されます。再びⓂ を押すと、モード選択の画面が表示されます。Ⓐ または Ⓥ を押して、モードの選択をすることができます。

表示	説明
	血糖測定モード: 血糖の測定を行います。
	測定記録の呼び出しモード: 測定器に記録された過去の血糖値の結果を表示します。
	設定モード: 測定器の年月日、時刻などの設定を行います。
	電源オフ: 測定器の電源をオフにします。

設定モードの表示

このモードには、日付や時刻の設定および測定データを消去する機能があります。

Ⓜ を押すと設定モードに入ります。

表示	意味/ 実行できる内容
	年日時の設定： 測定器の日付や時刻を設定します。(P19参照)
	アラームの設定： 測定器のアラームの時間を設定します。アラームは最大4つまで設定できます。設定した時刻はこのモードで変更することができます。(P20参照)
	測定記録の削除： 測定データを削除します。(P21参照)
	設定モードの終了： 設定モードを終了します。 モード選択の画面に戻ります。

年日時を設定する

手順 1

Ⓐ または Ⓥ を押して、【年日時の設定】を選択します。Ⓜ を押して、設定を開始します。

手順 2

Ⓐ または Ⓥ を押して、現在の西暦に設定してください。Ⓜ を押すと続けて日付表記の設定を行います。

手順 3

Ⓐ または Ⓥ を押して、日付表記：月-日または日-月を選択します。Ⓜ を押して、設定を続行します。

手順 4

Ⓐまたは Ⓥ を押して、月・日を増減させます。Ⓜ で月・日をそれぞれ確定すると、続いて時刻表記の設定に移ります。

手順 5

Ⓐまたは Ⓥ を押して、12時間/24時間表記を選択します。Ⓜ を押して確定します。

手順 6

Ⓐまたは Ⓥ を押して、時間と分を増減させます。Ⓜ で時間・分をそれぞれ確定すると設定モードに戻ります。

アラームを設定する手順

手順 1

メニューで、Ⓐ または ⓥ を押して【アラームの設定】を選択し、Ⓜ を押してアラームの設定に入ります。

手順 2

Ⓐ または ⓥ を押して【アラーム1設定中】を選択します。続いて Ⓜ を押してアラーム1の時刻を設定します。

手順 3

「時」、「分」の数字が点滅し始めたら、Ⓐ または ⓥ を押して時間を変更し、Ⓜ を押して確定します。

手順 4

2件目のアラームを設定する場合は、Ⓐ または ⓥ を押して、アラーム2を"設定中"にします。"未設定"を選択した場合はアラーム音がオフになります。

以上の手順に従って、引き続きアラーム3,4を設定します。最大4件までアラームを設定することができます。

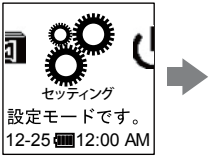
アラーム2 を午後10時35分に設定した場合

測定器は毎日午後10時35分になると、電源が自動的にオンになり、2秒間隔でピッピーというアラーム音が鳴り、画面上の時刻表示が点滅します。血糖値の測定を行うためにセンサーを挿入するか、Ⓜ を押すと止まります。

アラームは2分間鳴り続けます。何も操作をしなくても2分後に自動的に止まります。

測定記録の削除

※この操作をするとすべての測定記録が削除されます。一度削除した測定記録は復元することができません。



手順 1

Ⓐ または Ⓥ を押して【測定記録の削除】を選択します。Ⓜ を押して選択を確定します。

手順 2

Ⓐ または Ⓥ を押して、“はい” を選択してください。Ⓜ を押すと記録が削除されます。

手順 3

削除を終えたら、設定モードに戻ります。

設定モードの終了

設定モードを終了してモード選択に戻るには、このアイコンを選択して Ⓜ を押してください。

参考

- 設定モードで2分間操作が行われていない場合は、測定器が自動的にオフになります。
- 設定中に Ⓜ を 3 秒間押し続けると、前の手順に戻ることができます。

測定記録の呼び出し

フォラケア・グラフィックでは、過去に測定した血糖値が日付と時刻と共に400件までメモリーに保存されます。400件以上になると古い記録から順に上書きされます。また、血糖測定結果の7日間の平均および14日間の平均を表示する機能も付いています。

Ⓜ を押すと測定記録の呼び出しモードに入ります。

表示	意味/ 実行できる内容
	測定結果の呼び出し: 記録された測定結果を1回分ずつ呼び出すことができます。

7日間の平均値：
測定器の日付より数え7日間に測定したすべての血糖値の平均を食前・食後に分けて表示します。

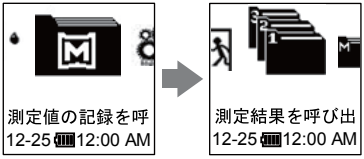
14日間の平均値：
測定器の日付より数え14日間に測定したすべての血糖値の平均を食前・食後に分けて表示します。

7日平均トレンドグラフ：
食前・食後に分けた7日間の平均値を、折れ線グラフで表示します。（移動平均グラフ）

14日平均トレンドグラフ：
食前・食後に分けた14日間の平均値を、折れ線グラフで表示します。（移動平均グラフ）

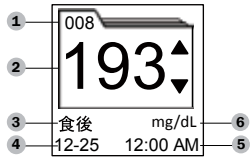
測定記録の呼び出しモードの終了：
測定記録の呼び出しモードを終了します。
モード選択の画面に戻ります。

測定結果の呼び出し



手順 1

Ⓐ または Ⓥ を押して【測定結果の呼び出し】を選択します。Ⓜ を押すと、記録されている測定データが表示されます。



1. 記録の番号（最新の記録から8番目）
2. 血糖測定値
3. 食前・食後の表示
4. 測定日
5. 測定時刻
6. 測定単位

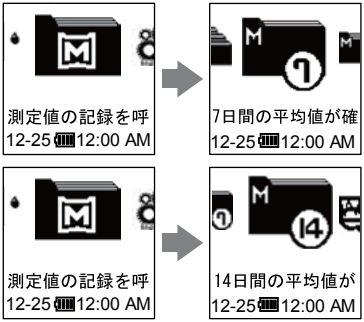
手順 2

一番最近の測定結果が最初に表示されます。Ⓐ を押すと古い記録が表示され、Ⓥ を押すと新しい記録が表示されていきます。測定器は400件までの測定結果を順番に再表示します。メモリーがいっぱいになると、古い記録から順に上書きされます。

手順 3

測定結果の確認を終了したい場合は、Ⓜ を押すと測定記録の呼び出しモードに戻ります。

7日間・14日間の平均測定値



手順 1

Ⓐ または Ⓥ を押して【7日間の平均値】または【14日間の平均値】を選択します。Ⓜ を押すと、食前・食後の選択画面に移動します。

手順 2

Ⓐ または Ⓥ を押して、食前の記録、食後の記録のどちらかを選択します。選択した方が、白地に黒文字で表示されます。

Ⓜ を押して確定します。

1. 7日間・14日間の平均血糖値
2. 数値についての説明
3. 7日間・14日間の測定回数
4. 測定単位
5. 食前・食後の表示

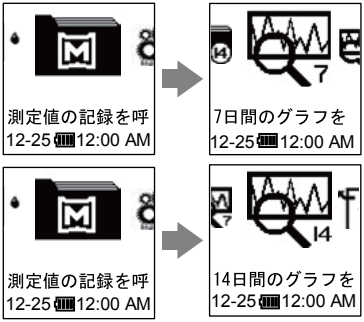
手順 3

最近7日間または14日間に測定したすべての記録から平均値（食前または食後）が算出されます。

手順 4

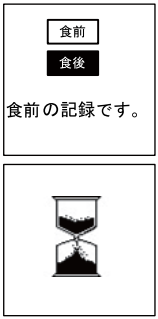
測定結果の確認を終了する場合は、Ⓜ を押すと測定記録の呼び出しモードに戻ります。

7日間・14日間の傾向線（トレンドグラフ）



手順 1

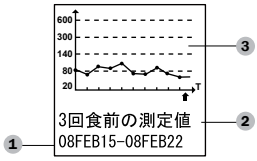
Ⓐ または Ⓥ を押して【7日平均トレンドグラフ】または【14日平均トレンドグラフ】を選択します。Ⓜ を押すと、食前・食後の選択画面に移動します。



手順 2

Ⓐ または Ⓥ を押して、食前の記録、食後の記録のどちらかを選択します。選択した方が、白地に黒文字で表示されます。Ⓜ を押して確定します。

グラフ表示には、記録数により、1分程度かかる場合があります。



1. 矢印の上の点が、2008年2月15日から22日までの測定平均値であることを示しています。
2. 矢印の上の点の算出情報を表示します。
   - 測定回数
   - 7日間・14日間
   - 平均血糖値
3. 血糖傾向グラフ

手順 3

7日間・14日間の平均値が傾向線で表示されます。
横軸の時間単位は1日になります。それぞれの表示点はその日から最近7日または14日間の平均値を意味しています。
Ⓐ を使って、グラフ表示をさかのぼって見ることができます。Ⓥ で最近のグラフ表示に戻すことができます。

手順 4

測定結果の確認を終了する場合は、Ⓜ を押すと測定記録の呼び出しモードに戻ります。

測定記録の呼び出しモードの終了

測定記録の呼び出しモードを終了してモード選択に戻るには、このアイコンを選択して Ⓜ を押してください。

コントロール液による機能確認（QCモード）

決められた濃度のグルコースを含むフォラケア メディカルセンサー用コントロール液（別売）を使用し、フォラケア・グラフィックで測定をすることで、機器とセンサーが正しく機能していることを確認することができます。コントロール液は濃度に応じてW2（白キャップ）、B3（青キャップ）の2種類があります。

次の場合にコントロール液テストを行ってください。

- 測定器やセンサーが正しく機能していないと思われる場合
- 測定結果が自分の感じている状態と一致しない場合、または測定結果が正確ではないと感じる場合
- 測定手順を練習したい場合
- 測定器が損傷している可能性がある場合

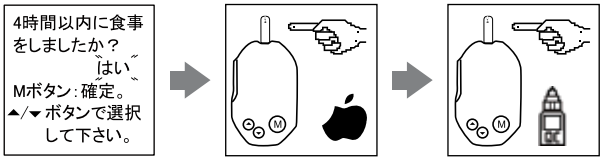
コントロール液テスト

1. センサーを挿入する

センサーのおもて面を手前にして、センサー挿入口に挿入します。測定器の電源が自動的にオンになり、次のメッセージが表示されます。

► “4 時間以内に食事をしましたか?” Ⓐ または Ⓥ を押して "はい"または"いいえ" のいずれかを選択し、Ⓜ を押して確定します。

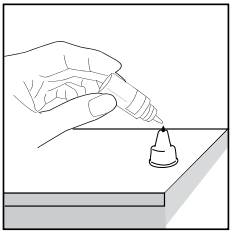
►血液点着の画面が表示されたら、Ⓐ または Ⓥ を押してください。QCモード(コントロール液テスト）の画面に変わります。



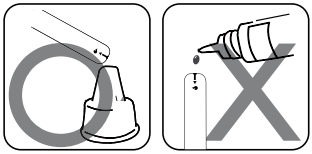
2. コントロール液を付ける

使用する前に、コントロール液のボトルを泡立たないように気をつけながら数回振ってください。

一滴を出して拭き取ってから、別の一滴を気泡ができないよう注意しながら、0.7μL以上をボトルのキャップの先端に付けます。



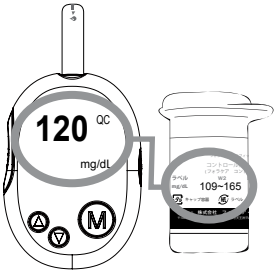
測定器を持って、センサーの血液点着部にキャップ上の液を吸引させてください。確認窓が完全に満たされると、画面に砂時計アイコンが表示されます。



コントロール液が汚染されるのを防ぐため、コントロール液をボトルから直接センサーに吸引させないでください。

3. 結果を読み取り、比較する

砂時計の表示が消えると、コントロール液テストの結果が表示されます。この測定結果をセンサーのボトルに印刷された数値範囲と比べてください。結果が数値範囲内に入っていない場合は、フォラケア・コールセンターまでご連絡ください。

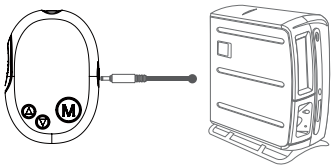


お手入れ及び保管

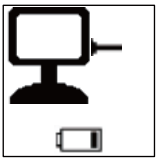
電池の充電

フォラケア・グラフィックにはリチウムイオンポリマー充電池が内蔵されています。電池の残量が少ないことを示す記号 " " が画面に表示された場合は、電池を充電してください。

パソコンで充電する場合：



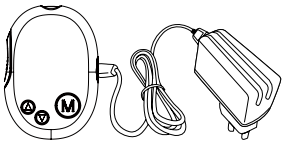
手順 1
付属のミニUSBケーブルの接続口（小）を測定器のミニUSBポートに接続します。



手順 2
ミニUSBケーブルの接続口(大)をパソコンのUSBポートに挿入します。充電中、充電マーク が表示されます。

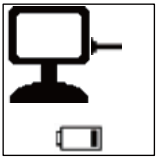
手順 3
電池が完全に充電されたら、左図のロゴが表示されるので、ミニUSB ケーブルを取り外してください。測定器はメニューに戻ります。測定器は、2分後に自動で電源がオフになります。

充電アダプターで充電する場合：



手順 1

ミニUSBケーブルの接続口（大）を充電アダプターに差し込み、反対側（小）を測定器のミニUSBポートに接続します。



手順 2

充電アダプターを電源コンセントに差し込みます。充電中、充電マーク ▮▮ が表示されます。

手順 3

電池が完全に充電されたら、左図のロゴが表示されるので、ミニUSB ケーブルを取り外してください。測定器はメニューに戻ります。測定器は、2分後に自動で電源がオフになります。

注意

- 電池を充電しても、メモリーに保存された測定結果には影響しません。
- 目安として、1回の充電で約120回の測定が可能です。
- 充電時間の目安は約2時間です。

測定器のお手入れ及び保管

測定器を使用する前に手を洗って乾かしてください。ゴミやほこり、またはその他汚染物質により、測定器およびセンサーが予期せぬ不具合をおこすことがあります。

測定器のお手入れ

- 測定器の外側を掃除する場合は、水や70%アルコールで湿らせた布で拭いた後、柔らかい乾いた布で拭いて乾かしてください。水で洗い流さないで下さい。
- 測定器の掃除にその他の有機溶剤を使用しないでください。

測定器の保管

- 常に付属の専用収納バックに入れて保管、移動してください。
- 落としたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 直射日光、高温、高湿を避け、40℃以下の場所で保管してください。
- 冷蔵庫・冷凍庫では保管しないでください。

別売品の使用上の注意

センサーの使用上の注意

- センサーは指定する測定器のみに使用してください。
- 汚れた手、または濡れた手で取り扱ったり、長時間手の中で保持しないでください。
- 結露しないよう注意してください。高湿度下に置いた時、または急激に温度変化させた時に結露するおそれがあります。結露すると異常値を示したり、測定不能の原因となります。
- 病原菌などによる感染の危険性もあるので、取り扱いは清潔な手で行ってください。
- 専用測定器のセンサー挿入口に差し込むときに、無理に力を入れて折り曲げたりしないでください。
- 使用後は感染の危険性があるため、他の人に触れないように廃棄してください。
- 採血部は感染の危険性があるため、採血後の処置を適切に行ってください。
- 使用期限を過ぎたセンサーは使用しないでください。使用期限はセンサーのボトルと箱に表示されています。
- 一度開栓したボトルのセンサーは90日以内に使い切ってください。90日を過ぎて使用した場合は、異常値を示す原因となります。
- 開栓後90日以内であっても、使用期限を過ぎたセンサーは使用しないでください。使用した場合、異常値を示す原因となります。
- センサーおよび測定器具一式は、乳幼児の手の届かないところに保管し、飲み込まないように注意してください。万一飲み込んだ時は、直ちに医師に相談してください。

- 2℃から32℃で保存してください。特に、0℃以下での保存は絶対に避けてください。0℃以下で保存すると、試薬の凍結や室温へ戻した場合の融解により、異常値を示す原因となります。
- ボトルから取り出した本品はすぐに使用してください。また、開栓したボトルはすぐにふたを閉めてください。
- 使用していないセンサーはボトルに入れ、しっかりとふたを閉めて保存してください。
- センサーを他のボトルへ移し替えないでください。
- 測定値に疑問を感じた場合は、再度測定を行ってください。それでも疑問に感じる時は医師に相談してください。
- センサーは体外診断用です。それ以外の目的に使用しないでください。
- 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断を行ってください。

コントロール液の使用上の注意

- 測定器にはフォラケア メディカルセンサー用コントロール液(別売)を使用してください。
- 有効期限が切れているか、または開封してから90日たったコントロール液は、使用しないでください。コントロール液のボトルに開封日を記入して、その日付から90日がたった場合は、残りの液を全て廃棄してください。
- コントロール液の測定は室温で行うことをお勧めします。測定する前にコントロール液、測定器、およびセンサーが指定した温度であることを確認してください。
- 使用する前にボトルを泡立たないように気をつけながら数回振ってください。コントロール液の最初の一滴を捨てて、容器の先端を拭き取り、次の一滴で測定してください。
- 2℃ から30℃の温度範囲でコントロール液を保管してください。凍結させないようにしてください。

トラブルシューティング

以下に説明する操作を実行しても問題を解決できない場合や、他のエラーメッセージが表示される場合は、フォラケア・コールセンターにお問い合わせください。どのような状況であっても、自分で修理したり、測定器を解体しないでください。

測定範囲を超えた場合

メッセージ	意味
	結果が測定限界値の 20 mg/dL以下の場合に表示されます（再測定しても血糖値がまた20 mg/dL以下である場合は、異常な低血糖が疑われます。医師に相談してください）。
	結果が測定限界値の 600 mg/dL以上の場合に表示されます（再測定しても血糖値がまた600 mg/dL以上である場合は、異常な高血糖が疑われます。医師に相談してください）。

エラーメッセージ

メッセージ	意味	対処方法
 使用されたセンサ	使用済みセンサーが挿入されている場合に表示されます。	使用済みのセンサーを廃棄して、新しいセンサーで測定し直してください。
 センサーがありま	測定終了前にセンサーがはずされました。	新しいセンサーで測定し直してください。
 充電 してください	電池の残量が測定するのに十分でない場合に表示されます。	すぐに電池を充電してください。
 測定可能範囲より	環境温度が本製品の適正使用温度より低い、または高い場合に表示されます。	適正な使用温度は 10℃ から 40℃です。室温を調節するなどして、測定器の機器温度が上記範囲内になるよう調節後、再度測定してください。
 誤作動があります	誤作動があります。	新しいセンサーで測定し直してください。 問題を解決できない場合は、フォラケア・コールセンターにお問い合わせください。

原因と対処方法

1. センサーを挿入後、測定器にメッセージが表示されない場合

原因	対処方法
電池の消耗	電池を充電してください。
センサーが正しく挿入されていない。	センサーのおもて面を手前にして正しい方向でしっかりと入れてください。

2. 血液をつけても測定を開始しない場合

原因	対処方法
血液の量が不十分である。	血液の量を増やして新しいセンサーで測定を行ってください。
センサーの不具合	新しいセンサーで測定を行ってください。
自動スイッチオフ後 (センサーを挿入して最後の操作から3分後)に血液をつけた。	新しいセンサーを挿入し、再度測定してください。 血液点着画面が表示されている間に、血液をつけてください。

3. コントロール液の測定結果が範囲外の場合

原因	対処方法
測定方法を誤った。	本取扱説明書を読んで再度測定を行ってください。
コントロール液の撹拌が不十分であった。	コントロール液が泡立たないように気を付けながら数回振ってください。
有効期限切れ、または古くなったコントロール液を使用した。	コントロール液の有効期限日を確認してください。
コントロール液の温度が範囲外である。	測定する前に、コントロール液が室温 であることを確認してください。
センサーの不具合	新しいセンサーで再度測定を行ってください。

注意

以上の対処方法を行ってもトラブルが解決されない場合は、フォラケア・コールセンターへお問い合わせください。

仕様

名称 フォラケア・グラフィック
寸法及び重量 84 (長さ) x 59 (幅) x 17 (高さ) mm、46 g (電池を含む)
電源 リチウムイオンポリマー充電池
分析性能（指定したセンサーを使用した場合）
日内再現性：変動係数が5％以下（血糖値が75mg/dL以上の場合）
標準偏差が3.75mg/dL以下（血糖値が75mg/dL未満の場合）
日間再現性：変動係数が5％以下（血糖値が75mg/dL以上の場合）
標準偏差が3.75mg/dL以下（血糖値が75mg/dL未満の場合）
最小許容精確さ：標準物質との誤差± 20%以内に95％が入る
（血糖値が75mg/dL以上の場合）
標準物質との誤差±15 mg/dL以内に95％が入る
（血糖値が75mg/dL未満の場合）
付属機能
警報機能：血糖値の高低の情報を表示する
記録容量：最大４００回の自動記録
トレンド表示：７日或いは１４日の傾向線を表示
ＱＣモード：測定器の性能確認、データは平均値に影響しない
ダイアログ：食前、食後の選択が行える
センサー挿入検知：センサーが挿入されると、測定モードになる
血液検知：血液を検知すると自動的に測定を開始する
反応時間カウント：測定が開始されてから７秒間時計マークを表示
ＰＣリンク：コンピュータあるいはモデムなどに接続し通信を行う